衆議院小選挙区選出議員選挙 宮城県第 5 区

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	連絡場所
小野寺五典	大崎市古川東町5-37 電話 0229-25-5896

受理年月日	令和 年 月 日
受理番号	No.

国と地域の未来を守る。

強く安定した農林水産業の実現

米や畜産物が再生産可能な価格を維持できるよう支援策等の拡充を図ります。

農林水産業環境が大きく変化する中で、**既存の予算とは別枠で、思い切った農林水産業の予算を確保し、生産者の所得向上と食料安全保障の強化を実現し、生産現場にも消費者にも不安を与えないよう取り組んでまいります。**

また、水産資源の適切な管理と成長産業化の両立を目指し、水産業が持続的な発展を遂げるための施策を進めます。

安全・安心なふるさとを

昨年12月には国道108号古川東バイパスが全線開通しました。**築館バイパス、みやぎ県北高速幹線道路、みちのくウエストラインなど、内陸部と沿岸部を結ぶ重要道路の整備、三陸沿岸道路の拡充、生活道路や避難道路など地域が真に必要とする道路整備を推進します。**

また、機能強化や地域の魅力を活用した誘導施設等の整備を進めてまいります。

近年、大型台風や記録的豪雨など自然災害が東北でも頻発し、住民生活や地域経済に多大な影響を及ぼしています。洪水などの被害に対する不安を解消するため治水対策、災害への万全な備えを推進し安全・安心なふるさとを創ります。

復興と地域の発展

前回総選挙より新しく私の地元となりました地域も含め、きめ細かく地域を歩き、皆様の声をお聞かせいただきました。**地域の基幹産業である農林水産業の発展や厳しい状況にある経済、雇用、暮らしを立て直し、物価高対策に全力で取り組んでまいります。**

東日本大震災から間もなく15年。残された課題への万全の対応が取られるよう、引き続き体制と予算を確保して、持続可能で活力ある夢や希望を持てる地域づくりを目指します。

三世代が一緒に暮らせるふるさとをめざして

党政務調査会長として野党と熟議の議論、政策協議を進め、政権与党としての政策を前に進めてまいりました。

高市政権発足後、党税制調査会長として、**51年間続いたガソリン・軽油暫定税率について、6党で協議を重ね、廃止することを決めました。ガソリン価格が下がったと実感していただけたと思います。**さらに、物価高に苦しむ皆様に手当をし、寄り添う税制になるよう、しっかり取り組んでまいります。

一方、わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しています。

わが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、引き続き安全保障上の諸課題に真摯に取り組み、地方経済を活性化し、安全・安心な国と地域づくりに取り組み、私が政治家になった原点である「三世代が一緒に暮らせるふるさと」をめざし、全力を尽くしてまいります。

宮城県第五選挙区
衆議院議員候補者

自民党公認

小野寺 五典（いつのり）

プロフィール

昭和35年5月5日生まれ。気仙沼高校、東京水産大学卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了。
宮城県職員、松下政経塾 研究員、東北福祉大学助教授を経て、平成9年より衆議院議員。
平成16年外務大臣政務官。平成19年外務副大臣。平成24年防衛大臣。平成29年防衛大臣（再任）。
令和5年衆議院予算委員長。令和6年自民党政務調査会長。現在、自民党税制調査会長、安全保障調査会長。